

輸液用電解質液（維持液）

※ 処方箋医薬品^{注1)}

ヒシナルク[®]3号輸液

HISINALC SOLUTION

貯 法：室温保存
使用期限：容器等に記載
注 意：「取扱い上の注意」参照

	200mL	500mL
承認番号	21900AMX01351	21900AMX01351
薬価収載	2007年12月	2007年12月
販売開始	1990年9月	2006年5月

禁忌（次の患者には投与しないこと）

- 高乳酸血症の患者〔乳酸血症を増悪するおそれがある。〕
- 高カリウム血症、乏尿、アシソン病、重症熱傷、高窒素血症のある患者〔高カリウム血症を増悪する、又は起こすおそれがある。〕

【組成・性状】

1. 組成

販売名		ヒシナルク3号輸液	
容 量		200mL	500mL
有効成分 (1容器中)	日局 塩化ナトリウム (NaCl)	0.18g	0.45g
	日局 塩化カリウム (KCl)	0.298g	0.745g
	乳酸ナトリウム液 (乳酸ナトリウムとして) (C ₃ H ₅ NaO ₃)	0.896g (0.448g)	2.24g (1.12g)
	日局 ブドウ糖 (C ₆ H ₁₂ O ₆)	8.6g	21.5g
添加物	pH調整剤		

電解質濃度 (mEq/L)				カロリー (kcal/L)
Na ⁺	K ⁺	Cl ⁻	Lactate ⁻	
35	20	35	20	172

2. 製剤の性状

性 状	無色澄明の水性注射液
容 器	プラスチックバッグ
pH	3.5～6.5
浸透圧比 (生理食塩液に対する比)	約1

【効能・効果】

経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持

【用法・用量】

通常成人、1回500～1,000mLを点滴静注する。投与速度は通常成人時間あたり300～500mL、小児の場合、時間あたり50～100mLとする。

なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。

※※【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 高カリウム血症を伴わない腎不全のある患者〔水分、電解質の過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。〕

- 心不全のある患者〔循環血液量を増すことから心臓に負担をかけ、症状が悪化するおそれがある。〕
- 重篤な肝障害のある患者〔水分、電解質代謝異常が悪化するおそれがある。〕
- 閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者〔水分、電解質の過負荷となり、症状が悪化するおそれがある。〕
- 糖尿病の患者〔ブドウ糖の組織への移行が抑制されているので、高血糖を生じ症状が悪化するおそれがある。〕

2. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
大量・急速投与	脳浮腫、肺水腫、末梢の浮腫、水中毒、高カリウム血症

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

4. 適用上の注意

※※1) ゴム栓を保護しているシールを開封後直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

2) 投与前

※※(1) 投与に際しては、感染に対する配慮をすること（患者の皮膚や器具消毒）。

(2) 寒冷期には体温程度に温めて使用すること。

3) 投与時

(1) 本剤を投与する場合は患者の尿量が1日500mL又は1時間あたり20mL以上あることが望ましい。

(2) ゆっくり静脈内に投与すること。

※※【取扱い上の注意】

1. 使用方法

※※1) 内容液に着色又は混濁等の異常が認められる場合は使用しないこと。

※※2) 容器表面に水滴や結晶が付着している場合には使用しないこと。

※※3) 通気針は不要。

※※4) ゴム栓を保護しているシールがはがれているときは使用しないこと。

※※5) 混注する場合、注射針の刺針はゴム栓の周囲にある刺針部(凹部)を使用し、まっすぐ刺し入れること。斜めに刺すと、ゴム栓や排出口内壁の削り片が薬液中に混入したり、容器を刺通し液漏れの原因となることがある。また、同一箇所を繰り返し刺さないこと。

※※6) 輸液セットの瓶針はゴム栓の中央部の刺針部(凹部)にまっすぐ刺し入れること。

※※7) 容器の目盛りは目安として使用すること。

※※8) 本製品は、連結管(U字管)を用いたタンデム方式による投与はできないので、2バッグを同時又は連続して投与する場合は、Y字タイプの輸液セットを使用すること。

2. 安定性試験

※※1) ヒシナルク 3号輸液 (200mL)

※ 最終包装製品を用いた加速試験 (40℃、相対湿度75%、6カ月)の結果、ヒシナルク 3号輸液 (200mL) は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。¹⁾

※※2) ヒシナルク 3号輸液 (500mL)

最終包装製品を用いた加速試験 (40℃、相対湿度75%、6カ月)の結果、ヒシナルク 3号輸液 (500mL) は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。²⁾

※【包装】

ヒシナルク 3号輸液：200mL×20袋
500mL×20袋

※※【主要文献】

※※1) ニプロ (株)：社内資料 安定性試験 (200mL)

※※2) ニプロ (株)：社内資料 安定性試験 (500mL)

※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献欄に記載の社内資料につきましても下記にご請求ください。

ニプロ株式会社 医薬品情報室
〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号
☎ 0120-226-898
FAX 06-6375-0177



製造販売 ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号